

防衛北海道

Bouei Hokkaido
June 2013
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense



Vol.28



Photo：(上)千歳基地航空祭の救難訓練展示で救難ヘリコプターUH-60Jから懸垂降下を行う千歳救難隊員
(下左)救助訓練を行う千歳救難隊員、(下右)入念に飛行前点検を行う千歳救難隊の整備員 (写真提供：航空自衛隊第2航空団)

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



～国内最高レベルの空力推進研究施設と 総合車両走行試験施設～



防衛省技術研究本部 札幌試験場

技術研究本部札幌試験場は、技術研究本部に四つある試験場の一つとして千歳市に所在しています。昭和32年に札幌市丘珠に技術研究所札幌試験場として開設され、現在は千歳市へ移転しましたが、札幌試験場の名称はそのままとなっています。

装備品の研究開発に必要となる、空力推進研究施設及び車両定地試験施設を保有し、航空機及び誘導武器等のエンジン性能・空力性能に関する試験並びに戦闘車両の速度性能等機動性に関する試験を実施しています。

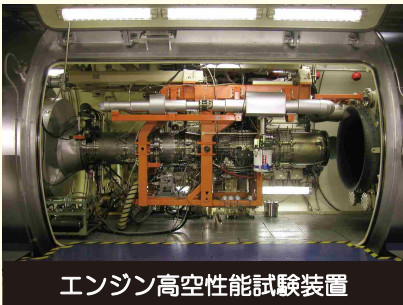
空力推進研究施設は、航空機用ジェットエンジンの飛行状態での性能を試験評価できる「エンジン高空性能試験装置」、高速で飛行する誘導武器用エンジンの性能を試験評価できる「燃焼風洞装置」及び低速から音速を超える飛行を模擬した風洞試験が実施できる「三音速風洞装置」から構成されています。これらの装置は、国内で最高レベルの試験ができる装置です。

車両定地試験施設は、装軌車及び装輪車の機動性能を評価する平坦直線路、軌道試験路、緩斜面路及び曲線路を結ぶ延長約4.3kmの周回路、登坂路、斜面横行路並びに試験解析棟からなり、最高速度、加速、燃費、登坂、斜面横行、旋回などの試験、解析及び評価を行うための施設であり、国内唯一の総合車両走行試験施設です。

技術研究本部札幌試験場は、保有している試験施設を使用して効率よく確実な研究開発を行い、より良い装備品の創製に努めています。



空力推進研究施設全景



エンジン高空性能試験装置



三音速風洞装置



車両定地試験施設

(写真提供：防衛省技術研究本部札幌試験場)

北 海 道 防 衛 局



総務部長 三浦 正典

4月1日付で、帯広防衛支局長から総務部長に着任しました三浦です。帯広防衛支局長在任時には、関係自治体等の皆様を始め地域住民の皆様には防衛省・自衛隊の活動に対し御協力・御理解を賜り心から御礼申し上げますとともに、御支援を頂き心から感謝申し上げます。

北海道防衛局の各部の業務が円滑に行えるようにしっかり取り組んでまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

帯広防衛支局長 佐藤 憲行

4月1日付けの異動で帯広防衛支局長を拝命しました佐藤です。平成20年からの本局勤務以来、3年ぶり2度目の北海道勤務です。これまで築き上げられた地域の皆様との信頼関係を大切に、更に発展しますよう、微力ながら努力してまいります所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。



防衛施設所在の首長さんからのメッセージ



千歳市長
山口 幸太郎

千歳市は、北海道の中南部石狩平野の南端に位置し、東西に細長い地形で、人口約95,000人、面積約595km²のまちです。市域には国立公園支笏湖があり、支笏湖から流れ出る清冽な千歳川は、市内を貫流し、さけの湖上河川として知られています。

市内には、我が国唯一の戦車を主体とした機甲師団である陸上自衛隊第七師団司令部が所在する東千歳駐屯地、多連装ロケットシステムなどを装備する第一特科団本部が所在する北千歳駐屯地、北方空域防衛の最大拠点である航空自衛隊第二航空団などが所在する千歳基地があり、その規模・人員から見ても全国有数の防衛施設を有する市であり、また、東千歳駐屯地内には航空機・誘導武器等の装備品の試験研究を目的とした防衛省技術研究本部の札幌試験場が所在しています。

千歳市は、これまで自衛隊とともに発展してきたまちであり、自衛隊との共存・共栄は、50年以上に及びます。

現在、自衛隊員及び家族関係者を含めた総数は、人口の約3分の1を占めるともいわれており、隊員等は地域社会活動への参加をはじめ、地域防災、スポーツ振興など、市の経済や社会、教育文化等に大きく貢献しております。

このような関わりの中で、自衛隊の体制維持・拡充を図るため、北海道を含む道内全ての自治体と連携し、「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」を設立し、「北海道における自衛隊の体制強化」を求め、積極的な活動を展開しております。



北海道の自衛隊体制維持を求める
中央総決起大会(22.5.14)



東日本大震災派遣自衛隊に感謝する
市民の集い(23.6.26、7.9)

(写真提供：千歳市)

新 任 幹 部 紹 介

調達部長 沼尻 邦男



4月1日付けで、北海道防衛局調達部長を拝命しました沼尻です。北海道勤務は今回初めてであり、着任以降、気候、気温などの違いに改めて日本列島が南北に長いことを実感しております。

調達部の業務は、日本の安全保障を担う自衛隊等が、その任務を遂行するための土台となる防衛施設の整備及び装備品等の調達に係る検査等の重要な役割を担っています。

微力ではありますが、自衛隊の隊務基盤となる施設建設等を目指し、調達部職員の先頭に立って、職務に取り組んでまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

千歳防衛事務所長 杉本 雅弘

4月1日付けで、千歳防衛事務所長に着任しました杉本です。

我が国の安全安心を担う防衛省・自衛隊の安定基盤のため、管内の関係自治体及び地域住民の皆様の御理解を得るよう、微力ながら努力したと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



北海道には自衛隊等が使用する演習場・飛行場など、数多くの防衛施設が所在しています。これらの防衛施設は自衛隊等の活動の基盤として、北海道はもとより我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのため、周辺地域の皆様の理解と協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。本誌では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策について、シリーズで御紹介しています。

■ 管理部業務（その1）

管理部業務の概要と管轄区域

管理部は、業務課、施設補償課、施設管理課、施設取得課の4課から編成されています。

管理部では、主に①米軍等による行為により損害を被られた方に対するの損害賠償、②米軍のための物品及び役務の調達、③自衛隊等の行う訓練のため、一定の区域及び期間を定めて漁船の操業を制限又は禁止することで生じる漁業経営上の損失を被られた方に対するの補償等、④自衛隊等が、演習場、駐屯地等として使用するための土地・建物等の取得や借り上げ、⑤取得した土地・建物等国有財産の管理などの業務を行っています。

なお、④と⑤の業務については、管理部（本局）と帯広防衛支局が、上図のとおりそれぞれの管轄区域を受け持って業務を行っています。

今回は、業務課の主な業務を御紹介します。



業務課の主な業務

1 損害の賠償

米軍等による行為により、身体や財産に損害を被った方に対して、日米地位協定^(注)第18条の規定に基づく損害賠償の業務を行っています。

具体的な手続の流れについては、右図のとおりで、その詳細は北海道防衛局ホームページにも掲示しています。

URL（アドレス）

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/gyoumu/index.htm>

(注) 日米地位協定：

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定

2 米軍への調達支援

米軍が北海道内で訓練を実施する際、米軍からの要求に基づき、訓練で米軍が必要とする車両や事務用機器などの必要な物資等について、米軍に取扱い業者を紹介したり、又は局が米軍に代わり調達

損害賠償等請求手続の御案内

米軍等の行為により被害を受けられた方へ

北海道防衛局では、米軍又は構成員等による行為（例えば、交通事故、器物破損等）により損害を受けられた方（被害者）に対して、日米地位協定に基づく損害賠償等の業務を行っています。
なお、公務執行外における損害については、原則として、当事者間の示談や保険などでの解決を優先していただきます。

＜ 手続の流れ ＞

事件・事故の発生

（公務執行中の場合）	（公務執行外の場合）
損害賠償請求書の提出 (被害者 → 北海道防衛局)	損害賠償請求書 公務外損害補償請求書 (被害者 → 北海道防衛局)
↓	↓
事故の調査 損害内容の審査 報告 (北海道防衛局 → 防衛省本省)	事故の調査 損害内容の審査 送付 (北海道防衛局 → 防衛省本省 → 合衆国当局)
↓	↓
防衛省と合衆国当局との協議	合衆国当局による内容の審査
↓	↓
賠償金額の決定・通知 (北海道防衛局 → 被害者)	補償金額の決定・通知 (合衆国当局 → 被害者)
↓	↓
賠償金額の同意・支払 (北海道防衛局 ↔ 被害者)	補償金額の同意・支払 (被害者 ↔ 合衆国当局)

○損害賠償等の請求できる期間
公務執行中と公務執行外で、賠償等を請求できる期間が異なります。（下表のとおり）

公務執行中の場合	損害発生及び加害者を知ったときから3年間
公務執行外の場合	損害の発生したときから2年間

請求できる期間を過ぎますと、請求することができなくなりますので、御注意願います。

事件・事故に関する情報を、御遠慮なくお寄せ下さい。

〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
北海道防衛局 管理部 業務課 業務係
Tel. 011-272-7564

するなどの調達の支援を行っています。

3 物品の管理及び処分（帯広防衛支局管轄区域を除く。）

自衛隊駐屯地等の工事から生じる鉄屑や立木等の施設発生物品の管理及び処分を行っています。

4 米軍航空事故等連絡会議の運営

北海道防衛局では千歳基地及びその周辺において米軍による航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合等の対処に万全を期すため、自治体、消防、警察、自衛隊等の関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡体制の整備等について連絡協議することを目的として、米軍航空事故等連絡会議を設置しています。

業務課は、本会議の事務局として、各機関と開催日程等について連絡・調整を行い、年1回のペースで当連絡会議を開催しています。

5 北海道防衛施設地方審議会の運営

この審議会は、北海道防衛局長の諮問に応じて自衛隊の施設等に係る不動産等に係る権利の対価の額等に関する事項や自衛隊等の使用により不動産等について生じた損失の補償額等に関する事項等を調査審議し、及びこれらに関し必要と認める事項を北海道防衛局長に建議する機関として北海道防衛局に置かれています。

当審議会は、委員として任命された7名の学職経験者と幹事とで組織されており、業務課が運営に必要な庶務を担っています。



米軍への調達支援の状況



米軍航空事故等連絡会議の状況
(24. 12. 8)



北海道防衛施設地方審議会の状況
(24. 11. 12)

平成25年度 防衛省所管補助事業等実務担当者研修会開催

4月18日、千歳市内のホテルにおいて、北海道基地協議会（会長：山口幸太郎千歳市長）主催の「平成25年防衛省所管補助事業等実務担当者研修会」（後援：北海道防衛局、協賛：（財）防衛施設周辺整備協会）が開催されました。北海道防衛局は、各担当課長等を講師として派遣し、道内45自治体等の実務担当者約230名の参加者に対して防衛省所管の補助事業に係る法令の概要及び事務手続等について説明を行いました。

当日は、主催者として山口千歳市長が「10年間にわたり自衛隊の体制維持活動を行ってきた、今年中に防衛大綱や中期防が見直されることになっており期待している」と、当局からは越智企画部長が「防衛省の補助制度に理解を深め、まちづくりに生かしてほしい」とそれぞれの挨拶があり、続いて研修が行われました。

研修は、全体研修と分科会の2部構成で、全体研修では当局中島会計監査官による会計検査の観点、過去の検査報告事例等について説明があり、その後の分科会では民生安定、障害防止・道路、騒音防止に分かれて研修が行われ、当局担当職員18名が補助対象事業の内容等について説明し、活発な質疑応答が行われました。

この研修を通じて自治体等の実務担当者の方々が防衛省の補助制度を理解し、それを有効に活用することにより、これまで以上に防衛施設と周辺地域との調和が図られ、ひいては防衛施設の安定的使用に寄与することになると期待されます。



北海道基地協議会
山口会長(千歳市長)挨拶



北海道防衛局
越智企画部長挨拶



全体研修 中島会計監査官説明



民生安定分科会



騒音防止分科会



北部方面情報隊新編 ～情報科部隊を一元的に運用～

北部方面隊（総監 岩田清文陸将）は3月26日、北部方面情報隊（隊長・長田英一郎1等陸佐）の新編に伴い、札幌駐屯地において編成完結式を実施しました。

新編された北部方面情報隊は総監直轄の情報科部隊で、札幌駐屯地に本部を置き、既存の情報科部隊及び同じく新編された北部方面無人偵察機隊（静内駐屯地）で構成されます。

北部方面情報隊の新編により、方面隊の情報科部隊を一元的に運用でき、情報収集及び処理能力の向上等情報機能が強化され、方面隊の即応性を更に高めることが可能となりました。



総監から隊長へ真新しい隊旗を授与



新しい北部方面情報隊の看板を掲げる隊員

～ 声高らかに宣誓 ～ 一般陸曹候補生・自衛官候補生 道内各地で入隊式

北部方面隊に、新たに約1,500名の一般曹候補生及び自衛官候補生が入隊し、それぞれの部隊で入隊式に臨みました。

その中の一つ、真駒内駐屯地の第120教育大隊では、4月7日に第6期一般陸曹候補生課程313名、14日には自衛官候補生（女性）96名の入隊式が行われ、式に臨んだ両課程の入隊者は、御家族及び多数の来賓の祝福を受け、北の守りの一員としての力強い第一歩を踏み出しました。



第6期一般陸曹候補生課程入隊式（真駒内駐屯地）



入隊式で声高らかに宣誓を行う
女性自衛官候補生（真駒内駐屯地）

海上自衛隊 函館基地隊の活動 ～潜水艦「おやしお」 函館港入港～



4月18日朝に函館港中央ふ頭北2岸壁に潜水艦「おやしお」が入港しました。

潜水艦「おやしお」の函館港入港は約2年ぶり、就役以来4度目となりました。

この度の入港目的は乗員の休養と補給であったため、一般公開は実施されませんでした。協力団体及び募集対象者等に対して特別公開が実施され多数の見学者が訪れました。見学者は、珍しい潜水艦「おやしお」の見学に面白かったと感激の声を上げていました。

滞在中は時折雪が降る天気となりましたが、多くの市民が岸壁を訪れ写真撮影を行っていました。つかの間の休養、補給を終えた潜水艦「おやしお」は21日朝に新たな任務のため函館港を出港しました。



艦橋に翻える群司令乗艦を示す代将旗



入港時の風景

2年ぶりにブルーインパルスが、北海道にやってくる!! ～大空に「夢・感動」を描くアクロバットチーム「ブルーインパルス」～ 航空自衛隊 千歳基地航空祭開催



8月4日（日）、航空自衛隊千歳基地（基地司令 金古真一空将補）において、千歳基地航空祭が行われます。

この航空祭は、北海道唯一の航空自衛隊の航空基地である千歳基地で、毎年、8月上旬に行われ、千歳市夏祭りの一つとして、街を盛り上げています。平均約8万人（過去5年間）、過去最高約12万8千人が、道内はもちろん、道外からも多くの方が訪れる北海道を代表するイベントの一つです。

航空祭といえば、華麗なアクロバット飛行で人気の「ブルーインパルス（以下「ブルー」という。）」です。ブルーが所在する松島基地は、皆様も御存知のとおり、東日本大震災で基地施設や航空機にも大きな被害を受けました。その影響もあり、昨年の航空祭ではブルーの姿をお見せすることは出来ませんでした。震災後ようやく航空機も松島基地に戻り、今年は千歳基地航空祭に飛来する予定となりました。

2年ぶりに、2年間の華麗な飛行を皆様にお見せすることが出来ると思います。千歳基地航空祭の見所は、ブルーだけではなく、F-15戦闘機の編隊飛行やF-15戦闘機、政府専用機及び救難捜索機の異機種による混合編隊飛行など、多くの飛行展示も行われます。また、米軍機、陸上及び海上自衛隊の航空機なども飛来する予定です。その他にも、「装備品等の展示」、「北部航空音楽隊の演奏」、「戦闘機のコックピット公開」やフライトスーツを着て写真を撮影出来る「ちびっ子記念撮影」なども人気で、子供から大人まで、お楽しみいただけると思います。

毎年、多くの方が訪れるため、基地までの道路は早朝から渋滞が始まります。そのため、公共交通機関を利用しての来場をお奨めします。今年も、JR千歳駅及びJR南千歳駅と千歳基地を結ぶシャトルバス（有料）が運行される予定です。詳しくは、下記の千歳基地HPを御覧いただくか、基地広報室までお問合せ下さい。

「防衛北海道」御覧の皆様の来場を千歳基地隊員一同お待ちしております。

「千歳基地航空祭」

開催日時：8月4日（日）

午前9時～午後3時（予定）

会場：航空自衛隊千歳基地
（千歳市平和無番地）

問合せ先：0123-23-3101
内線2218（広報室）

基地ホームページ：

<http://www.mod.go.jp/asdf/chitose/>



北海道防衛局からのお知らせ

北海道防衛局は、平成25年度の工事及び業務の発注見通しを平成25年5月17日にホームページに公表しました。入札参加を希望される方は御覧下さい。 URL (アドレス) <http://www-up.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

平成25年度 陸海空自衛官募集

募集種目	自衛官候補生(技術と体力を一心に磨く)	
	男子	女子
応募資格	18歳以上27歳未満の者	
受付期間	年間を通じ受付を行っています。詳しくは、最寄の自衛隊地方協力本部にお問い合わせ下さい。	
試験期日	8月1日(木)～9月6日(金)	9月22日(日)～26日(木)
合格発表	11月8日(金)	
入 隊	平成26年3月下旬～4月上旬	

募集種目	一般曹候補生(部隊の中核となる自衛官を目指す)
応募資格	18歳以上27歳未満の者
受付期間	8月1日(木)～9月6日(金)
試験期日	1次: 9月16日(月)・17日(火) 2次: 10月5日(土)～11日(金)
合格発表	1次: 9月30日(金) 最終: 11月8日(金)
入 隊	平成26年3月下旬～4月上旬

◆ 他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問合せ下さい。



札幌地方協力本部
011(631)5472



函館地方協力本部
0138(53)6241



旭川地方協力本部
0166(51)6060



帯広地方協力本部
0155(23)2485



自衛官募集ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/>



自衛官募集携帯サイト



募集種目	航空学生(パイロットへの夢を実現する一番の近道)
応募資格	高卒(見込含)21歳未満の者
受付期間	8月1日(日)～9月6日(金)
試験期日	1次: 9月21日(土) 2次: 10月12日(土)～17日(木) 3次: 11月9日(土)～12月12日(木)
合格発表	1次: 10月4日(金) 2次: (海)11月6日(水)、(空)11月1日(金) 最終: 26年1月22日(水)
入 隊	26年3月下旬～4月上旬

事務官等の募集については、人事院が行う国家公務員採用総合職試験(院卒者試験、大卒程度試験)及び国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験、高卒者試験)の合格者から採用を行っています。なお、防衛省職員採用Ⅱ種試験で行っていた試験区分「語学」及び「国際関係」については、引き続き、防衛省が行う防衛省専門職員採用試験の合格者から採用を行っています。 ※詳細な日程等については、防衛省のホームページに掲載しています。 URL (アドレス) <http://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html> ※問合せ先: 北海道防衛局総務部総務課人事係 011(272)7578

平成25年度 今後の国家公務員採用試験日程

試 験 名	申込み期間	第1次試験	第1次合格者発表	第2次試験	最終合格発表
国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)	(インターネット) 6/24(月)～7/ 3(水) (郵送、持参) 6/24(月)～6/28(金)	9/8(日)	10/10(木)	10/17(木)～ 10/25(金)	11/19(火)

6月～7月 道内自衛隊の主なイベント(予定)

(5月9日現在)

開催日	開催場所	イベント名	お問合せ
6月 2日(日)	東千歳駐屯地	第7師団創隊58周年及び東千歳駐屯地創立59周年記念行事	第7師団司令部 広報・渉外班 0123-23-5131
6月 8日(土)	帯広市民文化ホール	第5音楽隊第41回定期演奏会	第5旅団広報班 0155-48-5121
6月 9日(日)	旭川駐屯地	第2師団創立63周年及び旭川駐屯地開設61周年記念行事	第2師団広報室 0166-51-6111
	滝川駐屯地	滝川駐屯地創立58周年記念行事	滝川駐屯地広報班 0125-22-2141
	美唄駐屯地	美唄駐屯地創立35周年記念行事	美唄駐屯地広報室 0126-62-7141
6月16日(日)	苗穂分屯地	苗穂分屯地創立61周年記念行事	苗穂分屯地総務班広報 011-711-4251
	留萌駐屯地	留萌駐屯地創立60周年記念行事	留萌駐屯地広報班 0164-42-2655
	名寄駐屯地	名寄駐屯地創立60周年記念行事	名寄駐屯地広報班 01654-3-2137
	遠軽駐屯地	遠軽駐屯地創立62周年記念行事	遠軽駐屯地広報班 0158-42-5275
6月22日(土)	札幌市教育文化会館	北部方面音楽隊第70回定期演奏会	北部方面音楽隊 011-581-3191
6月23日(日)	島松駐屯地	島松駐屯地創立61周年記念行事	島松駐屯地広報班 0123-36-8611
6月29日(土)	北千歳駐屯地	第1特科団創隊・北千歳駐屯地開庁61周年記念行事	第1特科団広報班 0123-23-2101
6月下旬	釧路駐屯地	釧路駐屯地創立60周年記念行事	釧路駐屯地広報班 0154-40-2011
6月～7月	美幌駐屯地	美幌駐屯地創立62周年記念行事	美幌駐屯地広報 0152-73-2114
7月 7日(日)	上富良野駐屯地	上富良野駐屯地創立58周年記念行事	上富良野駐屯地広報班 0167-45-3101
	倶知安駐屯地	倶知安駐屯地創立58周年記念行事	倶知安駐屯地広報班 0136-22-1195
7月21日(土)	静内駐屯地	静内駐屯地創立49周年・第7高射特科連隊創隊32周年記念行事	第7高射特科連隊広報班 0164-44-2121

8 注: 行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へ御確認願います。